

令和4年度 JCHO湯布院病院 地域協議会議事録

開催日時 令和5年3月16日(木) 18時00分～19時00分(閉会)
開催会場 JCHO湯布院病院 2階 第1・2会議室
出席者 外部委員 7名
岩男病院 院長 岩男裕二郎 様
大分県中部保健所 由布保健部長 宇都宮公平 様(中部保健所長の代理出席)
由布市健康増進課長 佐藤重喜 様
由布市高齢者支援課長 工藤由美 様
日野病院 院長 日野修一郎 様
歯科吉村医院 名誉院長 吉村幸治 様
民生委員・児童委員協議会会長 衛藤哲雄 様(新任)

院内委員 5名
院長 三原太
副院長 針秀太
看護部長 濱田絵里
事務長 國分克典
地域医療連携室長 倉橋久美

欠席者 外部委員 1名(自治区会長 後藤久生 様)

配布資料 議事次第・概況書・令和4年度活動実績

冒頭、病院より地域協議会について委員名簿、議事録(匿名化)をホームページに掲載する旨の説明がなされ、了承を得た。

1. 院長挨拶

当院は今年度、地域医療機能を推進するという目標を掲げ、地域包括ケアシステムの一端を担うべく日々の診療に励んできたが、コロナ禍での診療で大変苦しい病院運営であった。委員の皆様からの当院へのご要望をお聞きし、改善すべき点は改善しながら更なる機能向上に努めていきたい。忌憚のないご意見を賜るようお願いする。

2. 委員紹介

委員名簿のとおり委員紹介

3. 議題1「湯布院病院の現況について」 ※配布資料「湯布院病院概況書(令和5年3月)」
議題2「令和4年度の活動実績について」 ※配布資料「令和4年度(2月迄)の活動実績」
議題3「新型コロナウイルス感染症について」

(病院より)

- ・資料に基づき委員へ報告。

4.委員からのご意見

(外部委員より)

- ・地域への支援活動である「短期集中予防型サービスモデル事業(由布市)」とは具体的にどのような事業なのか。(委員)
 - 由布市が展開する高齢者支援事業であり、口腔ケア、リハビリなどを3か月間通所に通い、継続することで利用者のADL向上も目指すもの。包括支援センターなどを経由して利用者の紹介がされている。(委員)
- ・新型コロナ病床の稼働率はどの程度なのか。(委員)
 - 令和4年9月15日の受入れ開始から令和5年2月の実績として、保健所からの指示による入院受入が16名、院内発生の症例で34名の実績があり、計50名。(病院)
- ・新型コロナ感染症に係るクラスターが3件発生しているが、感染対策をしているにも関わらずどうして発生するのか。発生の原因は分析されているのか。(委員)
 - 職員には体調不良があった際の就労制限や厳しい感染対策を求めているが、家庭内での感染も多く、職員からの持ち込みは否定できない。検査が陰性であっても症状のある者は就労制限をしているが、すり抜けてくる例もあり対応に非常に苦慮している。
感染者を0にはできないが、発生した場合ゾーニングし、拡大させないよう感染対策を取りつつ、職員の感染への意識を高く維持しながら今後も対応していく。(病院)
 - 5類移行が近づく中、社会全体として感染対策への意識が弱くなってきている。
有症状であれば制限をかけるが、全くの無症状という例もあることから、完全に制御することの難しさを感じている。(委員)
 - 病院は施設構造上ゾーニングし易いが、グループホームや老健などのユニットケア型の施設は発生時の隔離が大変難しい。(委員)
 - 町内でも一人の方が複数の施設(病院・通所)を利用する例が多い。ひとつの発生が全ての施設に波及するので、情報共有が非常に大切になる。(委員)

- ・新型コロナウイルスの 5 類移行後も発熱者の外来でのトリアージや入院管理はどうするのか。
 - 当面の間、外来・入院いずれも体制を変えず対応していくことを想定している。
 - 5 類に移行したからといって何も対策をしなくて良くなるというわけではない。(病院)
 - 5 類移行後の国の方針を受けて、大分県での方針もほぼ決定されつつある。
 - このことについては説明の場を設ける予定だ。(委員)
 - コロナ病床確保料が廃止されたとしても、地域にはコロナ病床が必要なのではないか。(委員)

- ・令和 2 年からはじまった新型コロナ感染症対策において、地域の病院の皆さんには市民の為に多大なご尽力を頂き感謝している。引き続き地域住民の為に安心安全の医療を提供して頂くようお願いしたい。(委員)
 - 新型コロナが 5 類指定されても、感染対策はこれまでどおり継続していくので安心して医療機関をご利用頂きたい。(病院)

- ・新型コロナウイルスの第 8 波の際には施設で多数のクラスターが発生した。その際に地域の医療機関には入院の受入れや施設への医療従事者の派遣、また感染症に関する研修会の開催を頂いた。感染症に関する研修会があったおかげで施設内でのゾーニングや BCP の作成に繋がられ、入院せずに施設内でコロナ患者さんを診ることができた。
 - 5 類に移行しても引き続きご協力をお願いしたい。(委員)

- ・新型コロナに関する制限が解除され、以前のように外国人観光客が多数訪れることが予想される。小さな病院や医院は人員体制も厳しく、受入が難しい。湯布院病院さんには可能な限り受入れについてご協力を頂きたい。また、発熱の患者さんの受入れや夜間帯での救急患者の受入れについてもできる限りのご協力をお願いしたい。(委員)

- ・温泉プールを市民に開放し、外部の方も利用頂けるよう検討頂きたい。(委員)

5.三原太院長より令和 5 年 3 月 31 日付での退任のご挨拶

(病院より)

本協議会は年間2回の開催を予定しており、令和 5 年度 1 回目は令和5年 10 月に開催予定。

以上